

ピコレーザーを受ける方へ 説明・同意書

ピコレーザーとは、ピコ秒（1ピコ秒=1兆分の1秒）という短い時間のレーザー光を照射する機械です。メラニンに対して瞬間的にエネルギーを伝える為、照射後の副作用（炎症反応や色素沈着）が少なく色調改善が期待できます。1～数カ月ごと4～5回程続けることをお勧めします。下記の注意事項・合併症についてご確認の上、署名をお願いします。また当院ではレビュー2を使い施術前の肌状態を撮影し確認します。

1, レーザーが受けられない可能性のある方

- 光線過敏症のある方。光線過敏症に関連した疾患・既往のある方。
光線過敏症を誘発する内服（抗生剤・精神薬・消炎鎮痛剤など）・外用薬・サプリメント等を使用中の方。
- 免疫抑制を引き起こす疾患、免疫抑制剤使用中の方。ケロイド体質・創傷治癒に障害がある方。
- 出血性疾患、抗凝固薬を内服中の方。発熱等、全身状態が不良の方。
- 妊娠、またその可能性がある方。

2, レーザーを行えない部位

- 感染性の皮膚疾患・炎症・化膿がある部位。（切開創・開放創・悪性腫瘍・ウイルス感染など）
- 日焼け部位（日焼けした場合、日焼けが落ち着いてからの照射となります。）

3, 表面麻酔について

- スポット照射時は使用しますが、麻酔アレルギーのある方は使用できませんのでお知らせください。スポット以外の照射は通常は使用しませんが、希望時をご相談ください。

4, レーザー前注意事項

- 日焼けをした状態では色素沈着を生じるリスクが高くなるため照射できません。日焼けしないよう日焼け止めを使用（SPF30以上）し、帽子等の着用で日焼けを予防してください。
- 照射部位に日焼け止めや化粧品が残っていると、レーザーが反応して熱傷を起こす可能性があります。照射前に洗顔をして落としてください。
- サンオイルを使用している場合は使用を控えてください。

5, レーザー中注意事項

- レーザー光から目を保護する為にゴーグルを着用します。照射中は外さず目を閉じてください。目を閉じた状態でも眩しく感じることもありますが、目に影響はありません。
- 強い痛みを感じる、ヒリヒリするなど違和感、気分が悪くなった場合はお知らせください。

6, レーザー後注意事項

- 照射部位に腫れ・赤み・痒み・痛みが生じることがありますが、ほとんどは1週間程度で軽快します。1週間以上経過しても軽快しない場合はご相談ください。
- 照射直後痛みが強い場合、アイスパック等でクーリングを行うことがあります。
- 通常は照射後軟膏外用のみを行います。ガーゼ保護を行うこともあります。
- 照射部位は掻いたりしないでください。皮膚を傷つけることで色素沈着になる可能性があります。
- 照射当日は入浴をせず、シャワー浴のみをお勧めします。
- 照射後にニキビがでる場合がありますが数日～数週間でおさまります。続く際はご相談ください。
- 乾燥・日焼けしやすい為、日焼け予防・保湿剤外用等ホームケアを日常的に行ってください。
- スポット照射後は2週間ほどテープ保護をお勧めしています。

7, 合併症：色素沈着・色素脱失・瘢痕

- 擦れやすい・日焼けしやすい部位は色素沈着のリスクが高くなります。
- 色調が濃い場合、頻回の照射を行う事により色素脱失を生じる可能性があります。
- 体質・高出力・短期間での繰り返し照射によっては瘢痕・色素沈着を生じる可能性があります。
- 痂皮形成、水疱形成、紫斑、紅斑、浮腫、痒み、炎症、痛みを生じることがありますが、数日～数週間でおさまります。

上記の内容を理解し、レーザー・レビュー2撮影を受けることに同意します。

年 月 日 氏名： _____